

企業紹介

切削工具・精密部品加工の スペシャリスト集団



株式会社 オータニツール

代表取締役 大谷 勇
〒940-0013 長岡市原町1-5-25
TEL 0258-24-5434 FAX 0258-24-0589
<http://www.otani-tool.jp>

業 種：切削工具製造、精密部品加工
資 本 金：1,000万円
事業内容：切削工具の設計・開発・製造、精密部品の加工

切削工具の設計・開発・製造を主体に、半導体、金型、治工具、医療器具関連など広範囲にわたる精密部品加工を手がける(株)オータニツール。近年では「溶射加工」技術を導入するなど、ユーザーのあらゆるニーズに応えるべく技術革新に取り組んでいる。

切削工具主体に精密部品加工を得意とする

同社は、鍛造によるバイト（切削工具）製造業者として昭和28年に創業。時代の変化と顧客ニーズの多様化に対応し、製造技術の革新を進めて業績を拡大してきた。

現在では、自動車メーカーなどが工作機械に用いる切削工具の設計・開発・製造に加え、切削工具の製造で培った技術を活かし、半導体関連部品、精密金型部品など多岐にわたる部品の加工も手掛けている。



▲長岡市原町にある第一工場

卓越した「銀ロウ付け」の技術

同社の切削工具や精密部品の品質を支える技術のひとつに「銀ロウ付け」がある。ロウ付けとは、部材を接合する溶接技術のことで、同社は、銀ロウを溶かして複数の部材を強固に接合させる技術を有している。

同社は、この技術を用いて、超硬、ダイヤモンド焼結体等を接合させ、摩耗に強い刃部を製造。また、同社の機械設備を駆使して刃部を総型形状にすることにより、ユーザーの求める作業時間の短縮・長寿命化・高精度化に対応している。



▲強固性に優れた同社の切削工具



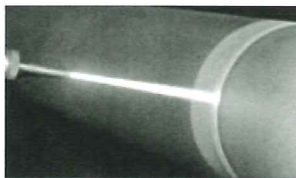
▲部品加工は半導体関連、金型関連など多岐にわたる

「技術で生き残る集団」を目指す

同社は、大谷勇社長の「技術で生き残る集団になる」との方針の下、製造技術の革新に努めている。

同社では、技術革新に有益な設備を積極的に導入。近年では、溶射粉末を高速で噴射させ、金属皮膜を形成する「溶射加工」の機械設備を導入している。機械部品は、現場での使用に伴い、摩耗や腐食リスクにさらされているが、溶射加工を施し金属皮膜を形成することにより、その使用寿命を大幅に伸ばすことが可能となる。この技術は、同社が新たな製品分野を開拓する際、強力な武器になっている。

また、同社では、これまで培ってきた技術を伝承していくため、70歳代の社員であっても雇用を継続。熟練技術を有するベテラン社員に若手社員の育成・指導を担ってもらうなど、ベテランと若手の技術継承を視野に入れた柔軟な雇用体制を確立している。



▲溶射粉末を噴射する「溶射加工」



▲活気溢れる製造現場の様子